



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：ペルシャ湾内での米海軍の演習実施 (5月24日付現地各紙)

1. 5月23日、9隻の米海軍艦艇がペルシャ湾に入り、イラン沿岸に姿を見せた。米海軍関係者は、昼間にこれだけ多数の艦艇が集結するのは2003年のイラク戦争以来であり、この行動についてイラン側への事前通報は行われていないと述べた。通常は、ほとんどの米軍艦艇は、注意を引かないように夜間にホルムズ海峡を通過するものである。又、このように多数の艦艇が一度にホルムズ海峡を通過することも稀である。
2. 米艦隊司令官クイン海軍少将の発言
 - (1) 彼ら（注：イラン）が誤ったメッセージを受け取らないことを望む。この演習は、地域の同盟国に対し、湾岸の安全保障への米国の関与を保障する長期的努力の一環である。本演習の特徴は、我々が2個空母戦闘群を有しているということである。昼間なので、我々の姿はよく見えることだろう。
 - (2) 我々がペルシャ湾に移動し訓練を行うことが（来週予定されている）イラン・米の協議に何らかの関係があるかどうかは全く承知していない。
3. 本演習に関する米海軍の声明（5月22日）

演習時期は、部隊が本演習を実施することが可能かどうかにより決定されたものであり、特定の国を対象としたものではない。